

《著者紹介》

加野 佑 弥 (かの ゆうや)

1994年 奈良県生まれ

立命館大学大学院政策科学研究科博士後期課程政策科学専攻修了。博士（政策学）

現 在：湘北短期大学総合研究センター研究員（2024年4月～助教：教育工学分野）

専門分野：高等教育学・教育心理学

主 著（主論文）

1. 「若者の社会参加 / 政治参加へのセルフ・エフィカシーに関する国際比較研究—社会参加意識と政治参加意識向上への示唆—」『日本福祉教育・ボランティア学習学会研究紀要』（日本福祉教育・ボランティア学習学会），37号，pp.143-157，2021年11月（査読有 / 桜井政成と共著・筆頭著者）
 2. 「日本の大学でのシティズンシップ教育に関する実践研究の特徴と課題—実践研究を中心としたスコーピング・レビューより—」『日本福祉教育・ボランティア学習学会研究紀要』（日本福祉教育・ボランティア学習学会），36号，pp.5-18，2021年7月（査読有 / 単著）
 3. 「日本のシティズンシップ教育政策関連文書における『クリック・レポート』の捉えられ方の変化—18歳選挙権の導入に着目して—」『シティズンシップ教育研究』（日本シティズンシップ教育学会），3号，掲載決定済（査読有 / 単著）
 4. 「大学教育におけるシティズンシップ教育の研究—Crickのシティズンシップ教育論の観点から—」『大学教育研究ジャーナル』（徳島大学），15号，pp.65-74，2018年3月（査読有 / 単著）
- 高等教育学全般に関する参考論文
1. 「新たなキャリアモデルの獲得が大学生の進路選択期待とキャリア・パースペクティブに及ぼす影響について」『大学教育研究ジャーナル』（徳島大学），20号，掲載決定済（査読有 / 共著）
 2. 「オンデマンド動画を用いた入学前ピアノ教育モデルの試論」『湘北紀要』（湘北短期大学），44号，掲載決定済（共著）
 3. 「キャリアモデルが A 大学の大学生の進路選択セルフ・エフィカシーに及ぼす効果」『大学教育研究ジャーナル』（徳島大学），20号，pp.67-73，2023年3月31日（査読有 / 共著）
 4. 「コロナ禍における A 大学の低学年学生の進路選択セルフ・エフィカシー」『大学教育研究ジャーナル』（徳島大学），19号，pp.83-91，2022年3月31日（査読有 / 共著）
 5. 「深夜アルバイトが大学生の授業意欲・学業意欲・大学意欲に及ぼす影響」『社会システム研究』（立命館大学），42号，pp.85-98，2021年3月（査読有 / 共著）
 6. 「組織的知識創造理論からみた大学教育でのプロジェクト学習研究」『大学教育研究ジャーナル』（徳島大学）14号，pp.50-61，2017年3月（査読有 / 共著）